

平成31年1月9日

各市町村医療的ケア児支援担当課長殿

愛知県健康福祉部障害福祉課
障害者施設整備室長

市町村における医療的ケア児者の把握状況等調査について（照会）

本県では平成31年度に医療的ケア児（人工呼吸器を装着している障害児その他の日常生活を営むために医療を要する状態にある障害児）の全数把握に向けて実態調査を実施したいと考えておりますが、貴市町村における現時点での状況など参考にさせていただきたいので、下記により平成31年1月18日（金）までに電子メールより御回答をお願いいたします。

記

- 1 貴市町村における在宅の医療的ケア児者の把握状況について
別紙1のとおり
- 2 医療的ケア児者実態調査について
別紙2のとおり
- 3 本調査における医療的ケア児者の定義
別添「平成31年度愛知県医療的ケア児者実態調査（案）の概要」の3「調査における医療的ケア児者の定義」のとおり

担当 重症心身障害児者施設グループ（山本）
電話 052-954-6629（ダイヤルイン）
FAX 052-954-6920
Email shogaishisetsuseibi@pref.aichi.lg.jp

市町村名 _____

回答者の部課名 _____

回答者の役職・氏名 _____

連絡先（電話） _____

貴市町村における在宅の医療的ケア児者の把握状況について

下記の各項目について、枠内のいずれかに「○」及び人数等を御記入ください。

1 母子保健事業に関して

(1) 0～3歳児の在宅の医療的ケア児数を把握していますか。

<input type="checkbox"/>	把握している	人（備考： ）
<input type="checkbox"/>	全く把握していない	理由：

(2) 市町村乳幼児健康診査の未受診児のうち、在宅の医療的ケア児数を把握していますか。

<input type="checkbox"/>	把握している	備考：
<input type="checkbox"/>	一部把握している	備考：
<input type="checkbox"/>	把握していない	理由：

(3) 4～5歳児の在宅の医療的ケア児数を把握していますか。

<input type="checkbox"/>	把握している	人（備考： ）
<input type="checkbox"/>	一部把握している	人（備考： ）
<input type="checkbox"/>	全く把握していない	理由：

2 保育所・幼稚園に関して

○貴市町村内の保育所・幼稚園に通っている医療的ケア児数を把握していますか。

<input type="checkbox"/>	把握している	人（備考： ）
<input type="checkbox"/>	把握していない	理由：

3 小中学校（特別支援学校を除く）に関して

○貴市町村内の公立小中学校に通学している医療的ケア児数を把握していますか。

<input type="checkbox"/>	把握している	人（備考： ）
<input type="checkbox"/>	把握していない	理由：

4 福祉事業（通所福祉サービス事業、手帳交付、各種給付事業等）に関して

○貴市町村の福祉事業において、在宅の医療的ケア児者数を把握していますか。

<input type="checkbox"/>	把握している	人（20歳未満 人、20歳以上 人）
<input type="checkbox"/>	把握していない	理由：

5 貴市町村全体として

○貴市町村で把握している在宅の医療的ケア児者は何人ですか。（上記1～4の再掲）

20歳未満	人
20歳以上	人
把握していない場合	理由・内容：

※2枚以上にわたっても、構いません。

平成31年度医療的ケア児者実態調査について

医療的ケア児者の方々のニーズ等を把握するアンケート調査を来年度に実施したいと考えていますが、下記の項目について、枠内に必要事項を御記入ください。

記

1 アンケート調査結果の情報提供について

- 災害時要配慮者支援や支援体制の構築のため、調査回答のあった方のうち、本人または保護者の希望がある場合は、県から対象児者の個人情報（本人の氏名・住所・生年月日、保護者氏名、医療的ケアの内容など）の提供を受けることに支障はありますか。

	支障なし	備考：
	支障がある	その理由：

2 調査項目について

- 医療的ケア児者に対して、特に照会したい項目はありますか。

--

※生活実態やニーズ等を調査しますが、現在のところまだ具体的内容は決めていません。

平成31年度愛知県医療的ケア児者実態調査（案）の概要

1 目的

平成28年6月の児童福祉法の一部改正により、医療的ケアを要する障害児が適切な支援を受けられるよう、関連分野の支援を行う機関との連絡調整を行うための体制の整備に関し、地方公共団体は必要な措置を講ずるよう努めることが規定され、県内における医療的ケア児への支援を検討する必要があるため、この基礎資料とするための調査の実施に向けて、現在、検討を進めている。

なお、成人以降の生活実態等の把握及び年齢による切れ目のない支援体制の検討も行う必要があるため、20歳以上40歳未満の対象者についても併せて調査を行う予定。

2 実施主体

愛知県及び名古屋市

3 調査における医療的ケア児者の定義

愛知県内に住所を有する40歳未満の次の対象児者

- ① 超重症児（者）判定基準の判定スコアに示す医療的ケアを必要とする児者（人工呼吸器管理、気管切開、鼻咽喉エアウェイ、酸素吸入、たんの吸引、ネブライザー、中心静脈栄養、経管栄養、腹膜透析、導尿、人工肛門等）
- ② 診療報酬上の在宅加算算定児者（診療報酬項目C102～C116 C108-2を除く）

4 調査概要

次のとおり年齢別の調査を行う。また、対象者に対するアンケート調査を実施して、ニーズ把握を行う。

（1）医療的ケア児者把握調査（一次調査）

- ① 未就学児（0～3歳）…市町村母子保健事業等により対象者を把握する。
- ② 未就学児（4～5歳）…県から医療機関、保健所、事業所（重症児対応）、訪問看護ステーション等に対して、年齢や性別等の対象児者データを調査・把握する。また、市町村に当該情報を提供する。
- ③ 学童（6～18歳）…教育委員会から対象者数を把握する。
- ④ 卒業後（15～39歳）…県から医療機関、保健所、事業所（重症児対応）、訪問看護ステーションに対して、年齢や性別等の対象児者データを調査・把握する。また、市町村に当該情報を提供する。

（2）医療的ケア児生活実態・ニーズ調査（二次調査）

上記（1）で把握した対象児者について、把握機関から調査票を配布。対象児者が複数の調査票を受け取った場合は1通のみ回答していただくこととし、調査協力を依頼する。